

## 2-1 ギリシャの思想 ④

## 小テスト

6年 組 番 名前

- ① アリストテレスによれば、個々の事物はある普遍的な性質である形相（＝ ）と、それを構成する素材である質料（＝ ）からなりたっているという。
- ② 四原因説について、例えば家を建築する際に設計し建築する人によって家が形成される変化を（ 起動因 ・ 目的因 ）という。
- ③ 潜在している目的が成長により実現することを（ ）という。
- ④ 性格的徳には、真理を認識する知恵や人間の行為にかかわる思慮（＝ ）が含まれている。
- ⑤ 理性に従って純粹に真理を求める生活を（ ）的生活といい、人間にとってもっとも幸福な生活とされている。
- ⑥ 人間が行動において過度や不足という両極端を避け、適切にその間の行動を選ぶ判断の基準を（ ）という。
- ⑦ 過度の無謀と不足の臆病の⑤の状態を（ 節制 ・ 穩和 ・ 勇氣 ）という。
- ⑧ 部分的正義の中で、不当な損害を償い、利害と得失を均等にする正義を（ 配分的正義 ・ 調整的正義 ）という。
- ⑨ 個人の行動は社会のあり方とも深く関わると考え、「人間は自然本性的に（ ）的動物である」と主張した。
- ⑩ 一方通行ではなく相互的なものであり、互いに相手の自分への行為を認識している関係が真の友愛である。このような動機を（ 有用性 ・ 卓越性 ）という。